

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された
患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2026年8月26日

研究課題名	肝臓に対する呼吸停止法 VMAT-SBRT における処方等線量レベルの違いと息止め再現性に伴う不確かさを考慮した至適マージンの検討
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長 森下 清文
研究責任者名 所属	市川 昌樹・中央放射線部 技術科
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	呼吸性移動対策の呼吸停止法^{※1}を用いて、肝臓に対する VMAT^{※2}-SBRT^{※3}において、処方等線量レベルの違いによる位置不確かさを評価し、適切な PTV マージン^{※4}を検討することを目的とする。 ^{※1}呼吸停止法 呼吸性移動対策の一つの方法であり、放射線治療中に呼吸を一定時間止めることで、臓器や腫瘍の動きを抑える方法 ^{※2}VMAT (Volumetric Modulated Arc Therapy) 放射線を回転させながら強度を変化させて照射することで、腫瘍への高い線量集中性を確保するとともに、周囲の正常臓器への線量低減を図る照射方法。 ^{※3}SBRT (Stereotactic Body Radiation Therapy) 胸部や腹部などの体幹部の病変に対して、多方向から放射線を集中させてピンポイント照射を行う方法 ^{※4}PTV (Planning Target Volume) マージン 腫瘍の領域に対して治療時の位置ずれや体内での動きによる不確かさを考慮して加える領域
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 2015 年 9 月から 2025 年 8 月に肝がんに対して SBRT を実施した方

	〈利用する情報〉 CT 画像、放射線治療計画の情報 CT 撮影時の呼吸性移動対策の位置精度のデータ
研究実施期間	実施許可日（情報の利用開始日： 2026 年 9 月頃）～ 2027 年 9 月
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の機関への試料・情報の提供はない
外国への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取扱い	この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。 研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。
連絡先・相談窓口	北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号 市立函館病院 中央放射線部 市川 昌樹 電話：0138-43-2000（代表）